

キタ！からきた



だより 第146号

※支部活動に関するご質問・ご要望や、事例検討会、一泊研修他、申し込みについては、以下のメールアドレスにご連絡下さい。
kitasibu2012@yahoo.co.jp 大阪北支部宛

「こんなところに社会福祉士がいた！」

<大阪北支部・会員リレー紹介 034> レポーター（原川忠士）



森之宮病院の医療ソーシャルワーカーとして働いて7年目、藤原 恵子さんをご紹介します。現在は、回復期リハビリテーション病棟で、主に脳卒中の後遺症でリハビリに取り組む方の担当をされています。お仕事の内容は、患者さんやご家族と面談を重ね、他職種と連携を図りながら、退院後の生活を見据えた支援を行ってられます。具体的には、患者さんやご家族がこれからの暮らしにどんな希望を抱き、どんな不安を感じておられるのか、お話をお聞きしながら、介護保険や身体障害者手帳などの利用できる社会資源を案内し、生活プランを一緒に考えてられます。他にも入院に伴う経済的な問題や復職に関すること等々多岐にわたる相談に対応されています。

社会福祉士を目指すきっかけは、大学卒業後、広告代理店で働いておられ、たまたま電車で目にした言語聴覚士の専門学校の広告だそうです。何となく興味を持って、色々調べているうちに社会福祉士をはじめ福祉に携わる多くの仕事があることを知ったとのこと。福祉に関心を持ったのは障がいをお持ちの方が身内にいたことも大きかったのかも話されていました。そして、転職を決意して会社を辞め、通信で社会福祉士の受験資格が得られる養成施設に入学。入学後は社会福祉協議会で日中アルバイトしながら、勉学に励まれたそうです。



大切にしている事は、公私関わらず、何か期待されると、完璧に100%以上の結果を出そうと自分にプレッシャーをかけて頑張り過ぎて疲れてしまうとの事なので、無理なく無茶せず、バランスよく周りの人に相談しながら物事をこなせたらいいかと日々思われているそうです。

これからも藤原さんに聞いてよかった、相談してよかったと思ってもらえるように自己研鑽を積んで、信頼されるソーシャルワーカーであり続けたいと語っておられました。短い時間でしたがお話を伺う中で、日々、素晴らしい相談支援業務をされているのだろうなという思いと多くの方々から再出発の力を与えておられるのだろうなという思いを強く持ちました。

まだ間に合います！！研修会『認定審査会ってどんなところ？』

大阪社会福祉士会の公職委員推薦でもある認定審査会について、支部会員の皆様にどんなところなのか？どんなことをするのか？を広く知っていただくために動画や模擬事例などを使用し、学ぶ研修会を大阪北支部・大阪南支部で企画いたしました。当初は、大阪北支部と大阪南支部会員限定で企画を進めておりましたが、他支部会員様からの「どんなところか興味がある」「どんなことをしているのか知っておきたい」などの反響のお声をたくさん頂戴したため、急遽、他支部会員様もご参加いただけるようになっております。申込期限も若干だけですが延長いたしますので、この記事を見られたあなた！まだ間に合います。ぜひ一緒に認定審査会について学びましょう。

【内容】審査会委員の会員推薦についてのガイドライン、介護認定審査会ってどんなところ？障がい支援区分認定審査会ってどんなところ？質疑応答など

日時：令和4年9月10日（土）14：00～16：30（入室：13：45～）

場所：Zoomによるオンライン研修

参加費：無料

※ 切：令和4年9月7日（水）まで（ZoomのIDとパス等は9/8頃にメール）

申込み：右側のQRコードまたは、URL：<https://forms.gle/echqvududHBZoPscu7>



申し込みはコチラ



★令和4年2月より、大阪北支部の公式LINEアカウントの運用が開始されています。現在、登録者増加中です。支部の情報などが手元に届くので便利です。ぜひご活用ください。LINEの「友だち追加」から、ID検索「@712abvel」するかQRコードをスキャンしてください。